

平成21年8月28日

東日本高速道路株式会社

関東支社横浜工事事務所

栄東工事長 川崎 裕二

【町会の申し入れも無視し、「庄戸地区の設計・用地説明会」を強行しようとした

NEXCO東日本に抗議し、猛省を促します。】について（回答）

貴会ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、弊社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成21年7月13日付けで横浜工事事務所長宛に提出された「抗議文」について、以下のとおり回答いたします。

なお、横浜工事事務所長に提出されておりますが、高速横浜環状南線の事業についての内容であるため、事業を担当しております当職より回答致します。

6月29日(月)に予定された庄戸地区の設計・用地説明会については、公示された庄戸小学校で開催できませんでした。しかし、私達が『開催については町会の了解を得て行う』約束があり、道路計画内容についても町会と協議中であり、とりあえず中止し開催について話し合いを」と申し入れていたにもかかわらず、これを強行しようとしたNEXCO東日本に、庄戸住民は憤り、事業者への不信を強めています。

また、設計・用地説明会は、貴社の資料によれば、「地元関係者(地権者等)の方々に道路の設計内容や用地補償の考え方等について説明」するものであると記されています。

しかし、国土交通省は横浜環状南線の工法が開削工法か非開削工法かすら決定されていないと述べていますので、現時点では設計・用地説明会を開催する条件は整っていません。また、説明をする対象者が地権者であるにも拘わらず、道路予定地の地権者1,300戸のうち、事前に通知されたのはその約1割にしかな過ぎません。共有地については町会長に通知すればよいとの認識が貴社には有ったようですが、町会長は地権者の権利を統括することはできませんし、町会長は全町会員に通知しなければならない責任も義務も有りません。

従って、1割程度の地権者だけを対象とする設計・用地説明会は不当なものです。更に、加藤工事長に対し上記の不当性を訴えている最中に、公示されていない別の場所で僅かな人員に説明したといわれております。しかし、この説明については、地権者に対する事前通知は全く行われていないのでこれをもって設計・用地説明会と称するのは、詐称であり、絶対認められません。

上記理由により、6月29日(月)に設計・用地説明会が開催されたとする加藤工事長の発言を撤回するよう求めます。

また、町会との約束と抗議を無視して、庄戸の道路計画沿線住民に「説明会資料等」の配布を強行したことに抗議します。

特に、同時に配布された「横浜環状南線の設計・用地説明について」(平成21年7月吉日付け)の中で、「…一部の方の妨害により、予定会場での説明が行えなかった…」と記されていることに住民から怒りの声があがっております。実態は庄戸1、3～5丁目の町会として、不当な説明会の開催に抗議したものであり、認識を改めていただくと共に、訂正を要求します。

(回答)

設計・用地説明を行う目的や背景については、「「横浜環状南線の設計・用地説明会の中止を求める」について(回答)」、「「6月29日の設計・用地説明の開催を中止し、開催について約束通り町会と協議を」について(回答)」において、回答のとおりです(webサイト「よこかんみなみ」掲載中)。

6月29日の設計・用地説明は、事業に反対する一部の方が、会場入り口を横断幕で封鎖し、出席を希望する住民の入場も阻止するなど、騒然とした状況になりました。このため、事業者は、仮設テントによる臨時会場での設計・用地説明を行うことを余儀なくされましたが、結果としては、予定時間を超過する活発な質疑応答もあるなど、説明会は有意義であったと認識しております(「議事要旨」をwebサイト「よこかんみなみ」に掲載しています。)

また、当日、説明に参加いただけなかった方のために、7月9日から11日まで開催した臨時相談窓口や、定例の相談窓口には、沿線在住の方などが訪れ、道路構造等について熱心な質疑応答が続いており、事業へのご理解が促進できていると考えております。

なお、一部の方から“事業者が町会個人に文書配布や個別訪問などの働きかけを行うのは困る”というご意見があったことは、認識しておりますが、一方で、事業者の説明が十分にお伝えできていないことによる、事実誤認も懸念されることから、必要に応じて、個別具体的な対応を進めていく所存です。

今後も、事業の進捗を図りつつ、住民の皆様との話し合いを行い、ご理解が得られるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

以 上